

# ホタテガイ採苗速報

## 付着数は西湾39,192個/袋、東湾101,204個/袋

### 1 ホタテガイの付着状況

6月11日に行った第1回全湾付着稚貝調査結果は図1および表1 (別紙) のとおりで、ホタテガイ稚貝の平均付着数は、全湾で63,997個/袋、西湾で39,192個/袋、東湾で101,204個/袋と、昨年の第1回全湾調査 (6月12日~14日) の平均値 (全湾7,210個/袋、西湾1,656個/袋、東湾14,616個/袋) よりも多くなっています。

稚貝の平均殻長は全湾で0.74mm、西湾で0.77mm、東湾で0.69mmと、いずれも昨年の平均殻長 (全湾0.62m、西湾0.70mm、東湾0.52mm) よりも大きいサイズとなっています。

### 2 キヌマトイガイ等の付着状況

キヌマトイガイの付着数は全湾平均で10,894個/袋、ムラサキイガイの付着数は全湾平均で4,092個/袋と、いずれも過去10年の平均値 (それぞれ36,457個/袋、10,876個/袋) よりも少なくなっています。

### 3 ホタテガイラーバ等の出現状況について

6月8日~11日に陸奥湾28定点で第11回湾内一斉ラーバ調査を行った結果、ホタテガイラーバの出現数は、西湾平均で374個/トンと、前回 (249個/トン) よりも増加しましたが、東湾平均では826個/トンと、前回 (1,037個/トン) よりも減少し、全湾平均では616個/トンと、前回 (617個/トン) とほぼ同じ状況となっています。200ミクロン以上のラーバの割合は全湾平均で59.9%、260ミクロン以上の割合は31.2%と、前回 (それぞれ、77.8%、46.6%) よりも減少しました。

ムラサキイガイのラーバの出現数は東湾平均で255個/トンと、過去10年の同時期の平均値 (231個/トン) とほぼ同じ状況ですが、キヌマトイガイのラーバの出現数は東湾平均で300個/トンと、過去10年の同時期の平均値 (77個/トン) よりも多くなっています。

ヒトデのラーバは全湾平均で1.7個/トンと、前回 (2.1個/トン) よりも減少し、付着直前のブラキオラリア幼生も見られませんでした。

### 4 試験採苗器への付着状況

ホタテガイの付着数は、水産総合研究所の川内実験漁場では12,928個/袋 (6日間)、青森市水産指導センターの奥内沖では3層平均で549個/袋 (7日間)、油川沖では3層平均で172個/袋 (7日間)、原別沖では3層平均で289個/袋 (7日間) でした。

### 5 海況

各ブイの6月7日~13日の平均水温は表2のとおりです。

### 6 今後の見込み

ホタテガイの付着数が多いところでは間引きが必要です。

**西湾では早い所で6月末から間引きができる見込みですが、付着稚貝が目で確認できるサイズ (殻長2~3mm) になってから行ってください。**

なお、ヒトデとウミセミの付着は少ない見込みですが、ウミセミによる食害を防ぐため、穴の開いた袋は使わないようにしましょう。

**東湾の間引きについては6月25日に臨時付着稚貝調査 (中層1袋) を実施し、6月28日発行予定の養殖管理情報第1号に情報を掲載しますので参考にしてください。**

### 7 お知らせ

湾内一斉ラーバ調査は今回で終了いたします。ご協力ありがとうございました。

また、第2回全湾一斉付着稚貝調査を7月9日に行いますので、ご協力をお願いします。



図1 漁協、支所別のホタテガイ付着数 (個/袋)

表2 各ブイの1週間 (6/7~6/13) の平均水温

観測地点	水温 (°C)	観測地点	水温 (°C)	観測地点	水温 (°C)
平館ブイ	11.2 ~ 15.1	東湾ブイ	6.3 ~ 15.0	横浜ブイ	8.3 ~ 15.8
蓬田ブイ	12.2 ~ 15.2	東田沢ブイ	9.6 ~ 13.6	浜奥内ブイ	9.9 ~ 15.9
奥内ブイ	12.4 ~ 16.6	清水川ブイ	9.2 ~ 14.2	川内ブイ	11.3 ~ 15.5
青森ブイ	10.0 ~ 16.3	野辺地ブイ	10.6 ~ 14.9	脇野沢ブイ	11.1 ~ 15.1

